

2008年

6月21日[土]・22日[日]

学習院大学

6月21日[土] 「危機言語」ワークショップ、口頭発表・ワークショップ
6月22日[日] 公開講演、ポスター発表、公開シンポジウム

6月21日[土]

「危機言語」ワークショップ

(企画: 日本言語学会「危機言語」小委員会/どなたでも聴講できます)

10:00～12:00 西2号館4階 402教室

関係節の類型論

—フィールドから見えてくる言語の多様性—

呉人 恵、加藤 重広、市橋 久美子、加藤 昌彦

6月22日[日]

公開講演・公開シンポジウム

(どなたでも聴講できます)

公開講演

9:40～11:45 創立百周年記念会館 正堂

内省実験から見える文法

上山 あゆみ (九州大学)

コーパスから見える文法

大名 力 (名古屋大学)

公開シンポジウム (協賛: 日本英語学会)

13:30～16:30 創立百周年記念会館 正堂

Morphology and Its Neighboring Areas

(形態論と隣接分野)

発題— Geert BOOIJ (University of Leiden)
Sergio SCALISE (University of Bologna)
Angela RALLI (University of Patras)
影山 太郎 (関西学院大学)

司会— 影山 太郎

会場— 学習院大学 (東京都豊島区)

JR山手線「目白」駅下車 徒歩30秒

日本語学会

The Linguistic Society of Japan

第136回大会

6月21日[土]

口頭発表・ワークショップ

13:00～18:00 西1号館1・3階/西2号館4・5階

口頭発表

- 契丹小字で表記された漢字音から見た契丹語音韻体系の研究——武内康則
- 沖縄方言の衰退と復活——新里卓
- 「修飾」という概念は普遍的か?——河内一博
- 「言語構造のワールドアトラス (WALS)」を使用した言語の多様性の視覚化——野瀬昌彦ほか
- 現代日本語の動作事象 (activity events) について——小西正人
- 日本語の形容詞派生動詞に関する統語的分析——長谷部郁子
- 日本語の複合名詞に関する考察——臼杵岳
- 日中英結果構文と非対格仮説——崔玉花
- ヒトの言語産出とコーパスの頻度とはどのくらい類似しているか——玉岡賀津雄ほか
- 知覚マーカーとしての「てきた」について——鈴木基伸
- 日本語の助動詞ハズダとワケダの意味と用法——齊藤学
- 文脈的制約の再構築による前提の特定——首藤佐智子ほか
- 知覚動詞の他動性とアスペクト——高嶋由布子
- 定型表現の再分析とゆらぎ——土屋智行
- 副詞「決して」の歴史の変遷——高橋光子
- 述語によって要求される「名詞のコト」形の意味——金英周ほか
- 等位接続と使役文——吉岐勝
- 間接疑問縮約構文の非移動分析——木村博子
- 主格目的語の認可領域——松井晴子
- 全称量化、否定極性、添加表現の「も」——小淵-Philip 麻菜
- Two types of nominative objects in Japanese —— Fumikazu NIINUMA ほか
- An ANOVA analysis of the nominative / genitive alternation in multiple nominative constructions in modern Japanese —— Hideki MAKI ほか
- The *mar* "as" construction in modern Irish and its theoretical implications —— Dónall P. Ó BAOILL ほか
- 文処理における情報構造と統語構造の交互作用について——今村怜ほか
- 日本語の文理解におけるアスペクト情報の処理——龍盛艶ほか
- Right Node Raising 構文処理にみられる統語依存情報減衰効果——高橋慶ほか
- 文理解を支える下位処理——横山悟ほか
- 「だけ」が含まれる否定文の解釈——野地美幸
- 幼児による三項動詞構文の理解と格助詞について——磯野将典ほか
- 日本語における空主語文の処理方略について——隈上麻衣ほか
- 左側節境界の設定における否定呼応副詞の影響——村岡諭ほか
- サハ語 (ヤクート語) の二重格構文——江畑冬生
- ウイルタ語民話資料における伝聞形式と証拠性——山田祥子
- チャック語における形容詞について——藤原敬介
- 存在否定と経験否定——高橋清子
- 日本語とカザフ語のオノマトベ語彙の多義性について——サディグル エルドス
- オノマトベの「特異性」再考——秋田喜美ほか
- アルファベット複合語から見たデンマーク語複合語アクセントと意味制約——三村竜之
- 「結果状態」を表す韓国語のテンス・アスペクト形式 -ess- と -e iss- の使い分け——崔榮殊
- 「行く」「来る」と「가다 kata」「오다 ota」の選択要因——韓京娥
- 飲食動詞構文の日中対照研究——許永新
- 指示詞と視点——中本武志ほか
- 中国朝鮮語の2音節名詞のアクセント——河須崎英之
- 朝鮮語三陟方言の名詞アクセント体系——宮瀬誠
- 韓国語統営市方言のアクセント体系——姜英淑

ワークショップ

- 言語の構造的多様性のなかでの品詞分類 中山 俊秀、渡辺 己、加藤 重広、山田 敦士
- 日本語における前提導入表現とその同定手法 片岡喜代子、戸次 大介、齊藤 学、川添 愛

6月22日[日]

ポスター発表

11:20～13:00 創立百周年記念会館 3階小講堂

- 韓国語の話しことばと書きことばにおける音素、音節、音節結合の出現頻度——李在鎬ほか
- 日本語における「島」の効果的実験的記述——時本真吾
- 「略字・俗字」の使用に関する意識調査——高田智和ほか
- 幼児の単一項目文の理解からみた格助詞理解と作動記憶容量のかかわり——水本豪
- 流体の経路表現の意味拡張について——鈴木幸平
- Ainu causatives —— Anna BUGAEVA
- 日本語の移動動詞の意味変化と継続アスペクト——澤田淳
- 支援動詞構文における事態性名詞と動詞との項共有と連結性——藤井聖子ほか

詳細は日本語学会ホームページへ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/lsg2/>